

札幌 市民防災

第 14 号

平成 28 年 3 月 31 日
札幌市民防災団体連合会

発行責任者 田畑 隆二

平成 27 年度札幌市防災表彰式及び 札幌市自主防災セミナー 2016

平成28年1月15日(金)中央区ホテルモントレエーデルホフ札幌に於いて「平成28年度札幌市民防災表彰式」及び当会と札幌市共催による「自主防災セミナー」が秋元市長ご出席のもと開催されました。秋元市長より平成11年度から行っている、地域における自主的な防災活動に貢献いただいた組織等を表彰するもので、昨年度まで172団体、表彰された団体は日頃から地域の特性にあった自主防災取り組み、地域の皆様の安心・安全を守っていただいた事に感謝しておりますとのねぎらいのお言葉を頂きました。



災害に備える自主防災活動

札幌市民防災団体連合会 会長 田畑 隆二



会員の皆様におかれましては健やかに新年を迎えられました事と、お慶び申し上げます。

さて、先般1月15日にホテルモントレエーデルホフ札幌におきまして、札幌市防災表彰式並びに防災講演会が開催されました。札幌市危機管理対策室のご協力を頂き防災講演会を共同開催させて頂きました。

講師には定池祐季氏（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 特任教授）をお迎えし「防災・減災と地域文化」について講演をいただきました。

講演後には、いつ起こるか判らない災害対策は地域の自主防災会が中心になっていかなければと強く感じた所です。

当会も今年度は、会員皆様のご協力を頂きながら会員団体皆様が指定されている基幹収容避難所の管理・運営方法の勉強会（HUG）の開催に努力をして行きたいと思ひます。

又、災害時要配慮者避難行動支援など災害時の地域の役割が大変大きくなっています。

会員の皆様の防災活動情報を発信しながら、安心・安全のまちづくりの向上に努めてまいりたいと思ひます。

会員団体の皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

「自主防災セミナー」

今回は、東京大学総合防災情報研究センター特任教授 定池佑季氏を講師に迎え『防災・減災活動と地域文化』をテーマに講話を戴きました。

講師みずからが北海道南西沖地震を奥尻島で実体験をされており、スライドを活用し分かり易く有意義なゼミでした。

引き続き恒例となっております当会主催の「新年情報交流懇親会」が開催されました。今回は札幌市から危機管理対策室河原室長をはじめ、小田原部長、村井・奥原両課長と、今迄にない4名の方々にご出席をいただき、それぞれ防災について市民との関わり等のお話がありました。

この後、参加者全員から自己紹介を兼ねた、防災活動の取り組み状況や課題などが報告され、質疑等でも札幌市や、多様な経験と知識に裏打ちされた会員の皆さんから、普段聞くことのできないお話を聞くことができ、有意義な情報懇親会になりました。

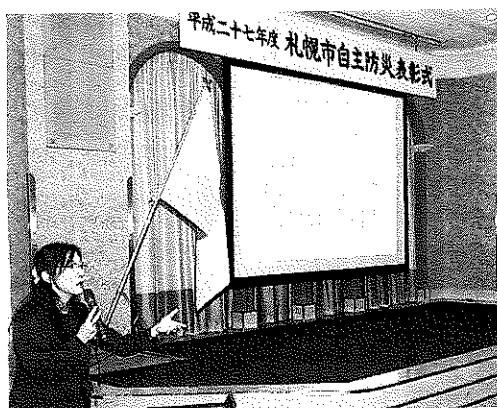
参加者から、このような情報交流会を多く聞いて欲しいとの声もありました。



セミナー



危機管理対策室
河原室長様
ごあいさつ



講師 定池裕季氏

初の避難所運営モデル地区

宮の森大倉山連合町内会 副会長 **森 一男**

当連合町内会が、平成26年度に避難所運営の初のモデル地区に指定された。拠点となったのは、宮の森小学校。この年の3月から、これまでに10回以上の避難所準備委員会を開いた。会長に小生がなり、小学校周辺の7町内会の会長、防火防災部長、東日本大震災のボランティア活動をした道庁職員もメンバーになった。

会議は、夕方から9時ごろまでになる時もあった。当選したばかりの秋元市長が、27年6月5日に顔を出してくれた。30分の予定が、1時間以上もいた。関心の高さを知る。準備委員会では、総務、名簿、食糧、救護、衛生など8グループの役割などで議論を重ねた。就寝、起床時間、飲酒、禁煙などで幅広く討論した。わが子同然のペットの取り扱いでは、熱を帯びた。屋外から校舎内につながく。

1年かけて肝心のマニュアルが完成した。マニュアルを元に、避難所開設の訓練を27年10月10日に実施した。110人が参加。委員は、役目のゼッケンをつけ、体育館で手際よく動く。終了後、各町内会の代表が感想を述べ、反省点が多く聞かれた。反省点が、本番に生きる。

中央区の総務企画課、まちづくりセンターの浅山所長、宮の森の山谷校長・平澤教頭らから絶大なるご指導、ご支援を頂いた。参加した町内会のつながり、絆が強くなった。マニュアルを他の避難所運営でも活用して頂きたい。

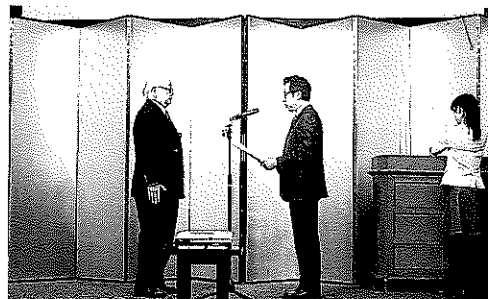


宮の森小避難準備委員会の訓練

札幌市防災市長表彰受賞に際して

南羊ヶ丘町内会 会長 青木 康昌

去る1月15日札幌市内エーデルホフにて『平成27年度札幌市防災表彰式』が開催され、南羊ヶ丘町内会は自主防災活動が評価され、他の六町内会、3団体と共に秋元克広札幌市長より荣誉ある市長表彰を受賞しました。主たる評価事由として豊平消防署西岡支署支援を得た防災防火消火等の実務訓練の実施と、豊平区役所支援による机上災害避難訓練（DIG）の導入、継続実施による地域住民への防災意識、知識、技術の理解と浸透に努めていることなどが対象となりました。また市の助成金を活用した「くらしの安心・安全マップ」制作による町内の安全機能一覧図を各戸に配布することで、防災意識啓発に役立てた事なども評価されたと考えます。札幌では年初に震度5の地震を経験し、尚更の緊張感を持ち防災活動継続と徹底に努める所存であります。



防災意識の向上を願って

新琴似連合町内会 会長 虻川 輝行

此の度の受賞を大変うれしく思います。

新琴似連合町内会は過去の大災害を通じて防災意識の向上が非常に大切であることを学んできた。その結果大規模災害時における効果的な救助の一つとして「要支援者の情報提供に関する協定」を消防団、社会福祉協議会、連合町内会の三者で結んだ。これを通してより迅速に、効率的な救助と併せて防災マップをもとにした共助や防災意識の向上にも役立つことを願っている。

昨年、北区役所と共催の防災訓練は、地域の町内会の役員、消防団をはじめ各種団体も参加して、災害時に欠かせない応急担架訓練、肺蘇生訓練など、より実践的な訓練をして確認し合い身につけることができた。災害という非日常的なことを日常的なことにして捉える上で定期的な防災訓練は欠かせないと考えている。

夏に地域の方々を対象に、東日本大震災を直接体験した宮城県南三陸教育事務所次長をお招きし、刻々変わる現状、情報にどう判断し行動したか、避難所での状況やあり方などを通して学んだ貴重なことを話していただいた。

今後も自分自身、家庭、組織、地域で防災力の向上に努めていきたい。



わが町内会の防災活動について

南区石山ひまわり町内会 会長 佐藤 正

近年、想定を超えた規模の災害が多発、尊い人命が失われている。こうしたなかで今、町内会も、災害に対する構えが強く求められています。この認識から2011年、「災害時における要支援者助け合いプラン」を策定。これは21年前の阪神・淡路大震災の教訓・災害時には地域住民による「素早い救出・援護・救援」活動が重要である、との貴重な教訓からこの体制の組織化を図ったものです。

この取り組みには、①災害時に自力で避難出来ない人（要支援者）の名簿の作成とともに、②誰が要支援者のところに救出に向かうのか、救助者の特定・名簿化が柱になります。

このプランの目的、意義そして申し込み用紙を全戸配付、併せて「福祉マップ」の作成に着手、完成した「福祉マップ」は町内会の各種会議で壁に張出し議題にのせ情報交換を図っています。

体制が出来あがったあと、要支援者と支援者の顔合わせ懇親会を行いました。

毎年若葉かおる6月、町内会主催の野外パーティ「新緑の集い」を開催その前段に「助け合いプラン」に基づき避難訓練を行っています。

このたび、わたくしどもの自主防災活動について表彰状を頂きました。このことに励まされつつ活動の一端を報告いたしますとともにこれからも安心・安全なまちづくりのためいっそう努力する決意をのべ感謝の言葉といたします。

ビッグニュース

今年は東日本大震災が発生してから5年目を迎え、Yahoo!Japanと全国の放送局（北海道からはSTV）がタイアップして、防災意識向上の観点から、特異な題材で珍しい防災活動をしている地区を、全国から10ヶ所選定された中に豊平区の西岡見晴町内会（会長が渡辺恵美子さんで、当会の副会長、広報部長を兼任されています）が作成して、南月寒小学校児童などを対象に実施している「防災紙芝居」『こんなときどうするの?』が北海道から選ばれ、過日STVから全国に放映されました。また、スマートフォン等でも利用可能な「防災アプリ」CMも制作されています。



南月寒小学校

表彰式出席者

受賞団体代表者

中央区	宮の森小学校避難所準備委員会	森 一男様
北区	新琴似連合町内会	虹川輝行様
東区	栄西連合町内会	大竹 實様
白石区	東札幌第五町内会	野林利雄様
厚別区	厚別中央振興会	佐藤健一様
豊平区	南羊ヶ丘町内会	青木康昌様
清田区	平岡小学校前町内会	高田俊夫様
南区	石山ひまわり町内会	岩崎雅士様
西区	西野地区連合町内会連絡協議会	水戸弘一様
手稲区	富丘西官の沢連合町内会連絡協議会	竹谷晋一様



表彰式出席者写真

「札幌市民防災団体連合会ご案内」のしおりが出来上がりましたので是非ご加入していただきたいと思ひます。

内容・目的、組織構成設立迄の経緯、活動などが載っており、他団体との連携を深めて頂きたいと思ひます。

問い合わせ先 広報渡辺（851-9583迄）

編集後記

広報誌発刊にあたり多くの皆様よりご寄稿いただきまして心よりお礼申し上げます。広報誌は会員皆様の情報交換の場でもありますので何かありましたら是非ご一報下さい。

5月には総会を予定しておりますので分かり次第お知らせしますので多数のご出席お待ちしております。

広報 渡辺 恵美子 電話 011-851-9583番

印刷所 北晃社 斎加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011(631)1271